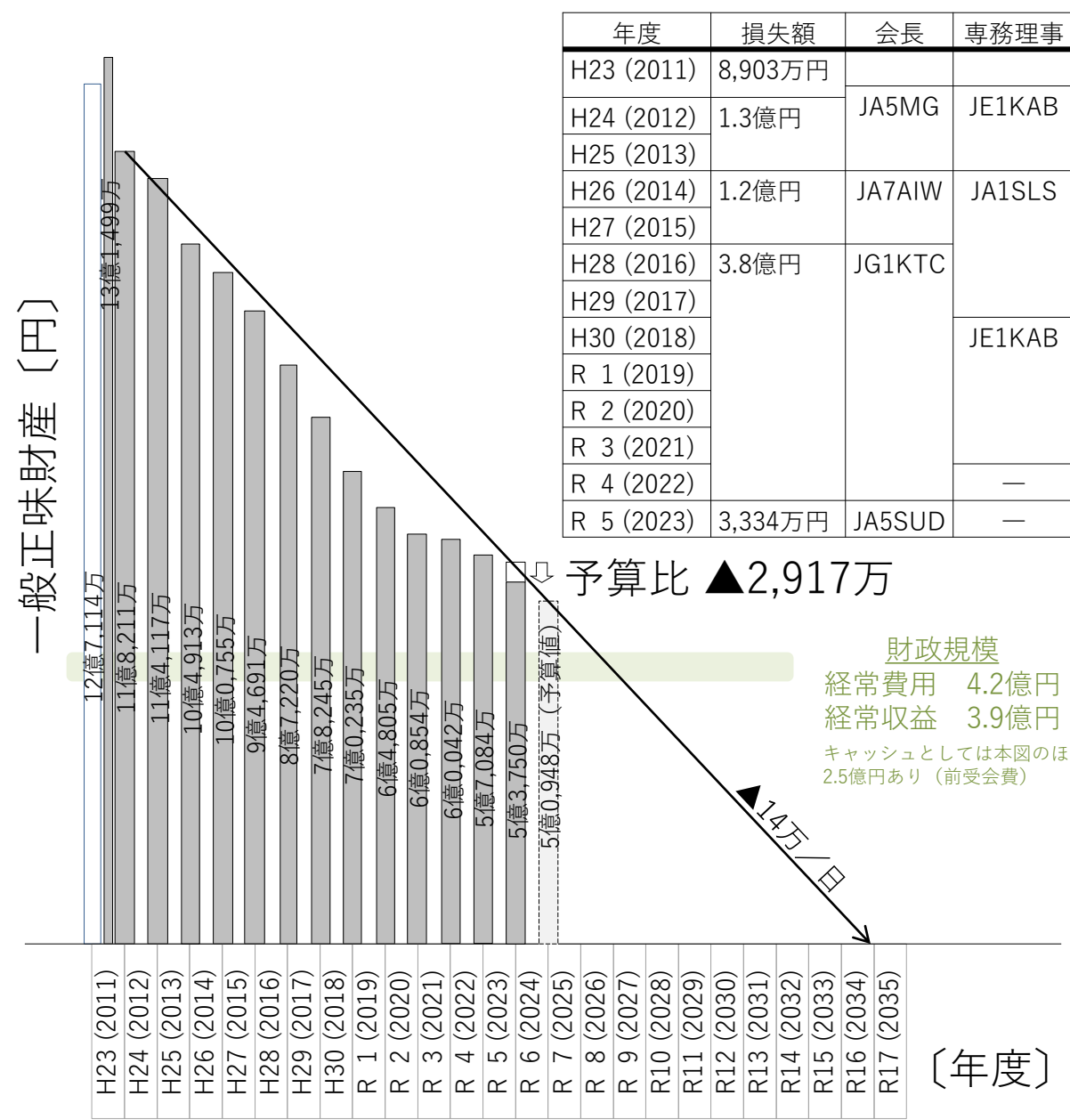


A. 『決算』について

【A.1】 予算比での赤字拡大の責任は、前会長だけでなく理事全員 [意見]

「会費収入と刊行物収益（局名録売上）が過剰に見積もられていました」として、掲題の責を前会長一人に押し付ける弁明がみられる〔令和5年度の収支に関する前会長・高尾義則氏のコメントの誤りについて〕。

しかし、「理事会で決した予算」なのであるから、理事全員が責任を負うべきである。
“過剰に見積もられ”なのであれば、理事会が、そのような予算案を潰さなければならない。
とくに、「予算案に賛成した理事」は、けっしてその責を逃れられない。



一般社団法人化後の『一般正味財産』の推移

B. 『JG1KTCの除名』について

【B.1】謝罪・反省

「160万円/年、2～3日に1回という“打ち合わせ”」「割り勘したにもかかわらず、満額を連盟に請求」をはじめとする、これまでの自身の振る舞いに、謝罪・反省はないのか？

【B.2】会員減は「全体の局数減」という、マクロトレンドから

「7年間維持した会員数を今年は大量退会者」との主張〔<http://cq-out-door.cocolog-nifty.com/jg1ktc/>〕で、あたかも「自身が会長でなくなったから、連盟の会員が減った」との訴求である。

- ① 要因は、母数たる「アマチュア局全体の局数減・加速」（右図）という、マクロトレンドにあるのではないかな？
- ② 自身の任期中、「会員期間の延長」をしていたのだから、「当時の会員数が“水増し”」されて見えるのは、当然ではないかな？
（コスト：2千万円、対象：在籍期間3年以上の会員）
 - ・ 2017～2019年度 … 12か月を13か月
 - ・ 2020～2021年度 … 36か月を37か月
- ③ つぶらな瞳で考えて、「200人分の年会費が会長の飲み銭に消える」ような組織に、入りたいと思うかな？

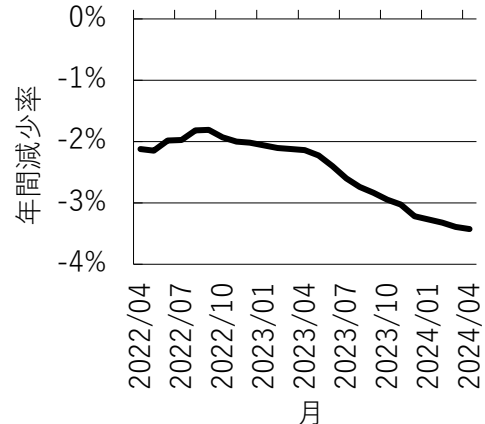


図 前年同月比での減少率推移
【アマチュア局全体】

【B.3】赤字増は「ポストCOVID-19」という、マクロトレンドから

「今年度は赤字増加」との主張〔<http://cq-out-door.cocolog-nifty.com/jg1ktc/>〕で、あたかも「自身が会長でなくなったから、連盟の赤字が増えた」との訴求である。

自身の任期中は、COVID-19による活動の停滞で、支出が抑えられていたのだから、その後の連盟の活動の再開につれ、出費が増すのは当然ではないかな？
（右図）

- ・ 2020年4月 緊急事態宣言
- ・ 2023年5月 5類移行

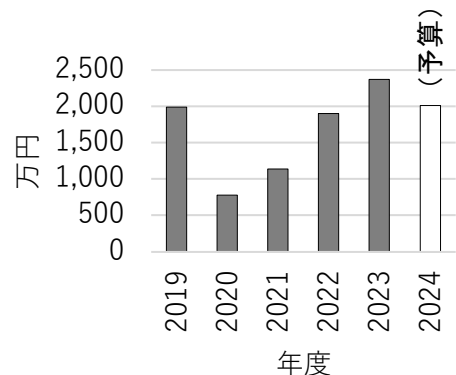


図 地方本部費の推移

【B.4】連盟の第一の存在意義は、「QSLカードの転送」ではなく、「パブリックアフェアーズ」

「JARLの1丁目1番地はQSLカードの迅速転送」との主張〔<http://cq-out-door.cocolog-nifty.com/jg1ktc/>〕だが、

- ① 連盟の第一の存在意義は、パブリックアフェアーズではないのか？
- ② 仮に「QSLカードの迅速転送」だとしたら、それが享受できない「半年会員」の受付を止めなかったのはなぜか？

【B.5】2023年のアマチュア無線の制度改正は、内閣府から総務省への外圧が契機

あたかも自身の成果のように訴求しているが、きっかけは『内閣府』の『規制改革推進会議』にあるのではないかと（下図）

その際むしろ、連盟が内閣府から声をかけてもらえなかった時点で、「負け」である（情けない）。

今回の意見募集に至った経緯

- (1) 行革110番にアマチュア無線免許制度の見直しの意見が匿名者より投稿された（内容は関係者限り）
- (2) 内閣府の通信・放送行政担当チームに検討が命じられた
- (3) 内閣府のチームがJARL, JARD, JAIAにヒアリングも埒明かず（改革に対する意見が無かったという印象だそう）
- (4) 内閣府は困惑、独自にネット検索を通じて各種ブログ等より情報収集
私のブログ等での改革案をすべて読破、あわせて担当者の元同僚ハムを通じて適任者の紹介を要請
- (5) 私が発見された（笑）：2021年8月（ブログ等で改革案を提言していた本人が登場した、と喜ばれた）
- (6) 規制改革推進会議での提言を求められ、内閣府と検討開始（2021年8月）
- (7) 骨子が定まり、内閣府を通じて総務省と交渉開始（2021年9月）
- (8) 規制改革推進会議経済活性化WG第4回会議（2021年11月）にYOTA JAPANとして提言 → 総務省は実現を約束
- (9) 総務省にてワイヤレス人材育成のためのアマチュア無線アドバイザーボードが発足（2022年1月）
- (10) アドバイザーボード第一回会合の直前に、座長と構成員の三木先生と飯塚さんにレクチャー
- (11) アドバイザーボードより提言が公表（私の提言をロングリングした形）

図 内閣府に対応した、YOTA Japanによる見解

<https://www.youtube.com/watch?v=Jk0WzsUmMtw>

【B.6】JE1KAB退職金の、会長加算300万円の必要性・額の妥当性

- ① そもそも論として、「社員総会で選任が否決される」程度の評価であり、加算の理由がないのではないかと？
- ② 300万円——年会費417名分に相当——の、算定根拠はなにか？
- ③ 「理事」としての退職金なのであれば、本 社員総会では、これまで「退職金」についての決議をしておらず、支払うことができないのではないかと？
これまで決めたのは、「役員報酬」としての上限1,000万円/年のみである〔#1 社員総会〕。

理事の報酬等（報酬、賞与その他の職務執行の対価として一般社団法人等から受ける財産上の利益をいう。以下同じ。）は、定款にその額を定めていないときは、社員総会の決議によって定める。
〔一般社団・財団法人法89条〕

- ④ 「職員」としての退職金なのであれば、規定を無視、かつ、理事会による承認がないのではないかと？
- ⑤ 専務理事としての身分・報酬を与えていながら、事務局職員の身分も（報酬も？）与えていたのか？
「2014-05-20採用～2019-12-24定年退職」で、5年8か月を勤続年数として扱っているが（退職一時金 550万円分）。

【B.7】新たに発覚した、割り勘時の連盟への満額請求

83,964円／6回が追加で発覚した〔#72 理事会報告〕。

- ① 他の飲み会（諸 委員会後など）でも、同様なふるまいをしていないか？
- ② 連盟に返還すべきではないか？

法律上の原因なく他人の財産又は労務によって利益を受け、そのために他人に損失を及ぼした者（以下この章において「受益者」という。）は、その利益の存する限度において、これを返還する義務を負う。
〔民法703条〕

【B.8】昨2023年度 第5議案の執筆者

昨2023年度社員総会における、『第5議題 理事 田中透 解任の件』（右図、1ページ目のみ引用）を書いたのは、自身で間違いないか？

令和5年5月11日

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

会長 高尾 義則 殿

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 社員

JA1MUY	仙石 康信	JA1STY	鈴木 清
JE1QJE	加藤 勇一	JF1NEF	森野 富士彦
JG1RNL	比嘉 隆太	JH1RNM	橋本 義克
JN1DWM	岡本 武	JR1GDR	関 義則
7M3HYT	伊藤 健一	JR2FJF	秋田 邦宏
JA4BQD	青池 孝	JA6ACZ	佐々木 正文
JA6DJZ	渡邊 秀明	JA6NHN	西 幸司
JG6MNG	松木 孝生	JG6TXW	清田 政勝
JH6WKF	中村 孝雄	JA7DCY	石川 和男
JA7DNO	島 正博	JA7DRJ	古川 源次
JA7EFR	佐久間 一郎	JA7FSP	玉橋 康男
JA7MAV	佐々木 達郎	JA7SOK	渡辺 和弘
JA7UES	遠藤 隆史	JA7UQB	佐藤 雄孝
JH7DXJ	安斎 庄次	JR7JAW	槻木澤 稔
JE8JSX	坂森 勉	JA0CFA	西澤 令一
JA0LFV	大塚 久夫	JA0HSR	中嶋 健
JH0BQV	金子 豊	JH0EXE	中島 明美
JR0BAT	小川 忍		(コールサイン及び氏名)

社員提案権行使書（田中理事の解任）

私たち一般社団法人日本アマチュア無線連盟（以下「本連盟」といいます。）の社員は、総社員の議決権の30分の1以上の議決権を有する社員として、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法」といいます。）に基づき、本書をもって、以下のとおり請求します。

1 法第43条第2項の規定に基づき、下記に記載する議題を、令和5年6月25日開催予定の第12回定時社員総会における社員総会の目的とすること。

2 法第44条の規定に基づき、本議題について、下記に記載する議案を提出するので、法第45条第1項の規定に基づき、議案の要領及び提案の主旨、理由、証拠等として、本社社員提案権行使書（本ページを含む）をそのまま全社員に通知・送付すること。

なお、本提案権行使の期限までに議題の件数が確定していないので、議題の番号は付しません。

43

図 昨2023年度『第5議題 理事田中透解任の件』

C.『理事選任』について

候補者番号2（JG1KTC）に関し、本準備書面中の以下に同じ。

- ① pp.2～4『B章』
- ② p.30『一応の解決／一過性（R5(2023)年 2/5） JG1KTC理事解任』（従来評価）

D.『定款改正』について

【D.1】JARL NEWS（またはJARL Web・JARLメールマガジン）による、会員むけの説明を先行させるべき

「いきなり社員総会に議案提出」ではなく、まずは広く会員にむけて、やりたいことの趣旨を説明すべきではないか。

JARL NEWSの内容が――CQ誌ともども――不急な回顧主義に走りがちなか中、「紙幅がない」とは言わせない。

【D.2】制度復活の必要性

『常務理事』は、「過去に廃止した『常任理事』（右表）制度の復活」ともいえる。

廃止時よりも経営環境がさらに悪化し・サービスの提供先たる会員も減っている中、ほんとうに復活が必要なのか。

表 かつてあった『常任理事』

年度	76 ～ 77	78 ～ 79	80 ～ 81	82 ～ 83	84 ～ 85	86 ～ 87	88 ～ 89	90 ～ 91	92 ～ 93	94 ～ 95	96 ～ 97	98 ～ 99
JA1AF					○	○						
JA1AR	○											
JA1CA			○	○								
JA1XP	○	○	○	○								
JA1GSH							○					
JA1HQG			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
JF1VSC							○	○	○	○		
7K4WWX											○	○

【D.3】役員報酬の肥大化の危惧〔意見〕

従来の「役員報酬 上限1,000万円/年（制度の実運用としては、専務理事1名に 900万円/年）」の枠を、超えることがないよう、求める。

E.『事業報告』について

【E.1】「2.(2) 活性化」に関し、JARDによる保証認定の現況（TSS分を吸収し、倍増しているか）

（今年度の話で申し訳ないが、）4月以降のJARDの保証認定数は、どう推移しているか。「倍増していない」のであれば、以下が推察できる：

- ・ JARDによる保証認定に対応できず、自作・改造を断念
 - 難易化 … TSS比で、審査が厳格
 - 高額化 … 基本保証：2月に値上げ（スプリアス確認保証：4月 同）
- ・ 総務省などが目指している、“ワイヤレス人材育成”に、環境が逆行

【E.2】「2.(2)⑩ 特別局・特別記念局」に関し、漏れ

以下の2行事が別表5で抜け落ちているのではないか。

- ・ 令和6年1月1日～令和6年12月30日 8J2GERO 下呂市制20周年記念
- ・ 令和6年3月15日～令和6年6月30日 8J4SNP 瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業

「もはや連盟自身ですら把握できない惨状」ならば、記念局の制度そのものを抜本的に見直せ（次項に関連質問）。

【E.3】「2.(2)⑩ 特別局・特別記念局」に関し、抜本的な見直しが必要ではないか？

問題点（太字）を下図にまとめる。

紛らわしい（運用者自身による誤認すら散見）

	特別局	特別記念局
連盟支出金	・ なし	・ 1局あたり … 最大 5万円 ・ 年間総額 … 最大 50万円
決裁	・ 会長	・ 理事会（年度前の2月末の）
申請締め切り	・ 3か月前 踏み倒し横行	・ 年度前の1月末 要求リードタイム長すぎ
対象行事	線引きが不明確（例：「全国植樹祭」の主催は「都道府県」） ・ ローカルイベント ↔	
定義	・ 連盟の特別行事において、公開展示し運用する局をいう。 実態が乖離： ・ “連盟の特別行事”に値するのかが疑問な、超ローカルイベントも ・ 自宅持ち回り運用が大半	・ 国際的又は国家的に重要な行事において、アマチュア無線家が多数参加し、かつ、一般参加者に対してアマチュア無線の認識を高めるために公開展示し運用する局をいう。 実態が乖離： ・ アマチュア内輪のイベントが大半 ・ 自宅持ち回り運用が大半
連盟への後援依頼の併願	・ 規定なし	

共通

終了後の報告	・ 規定なし	にもかわらず報告を期待・要求
制度制定時（1987年）からの環境変化	- 総務省による基準の明文化（2001年） - 同 2023年の改正 - 総務省と連盟とで、義務の範囲が相違 - 総務省の要求による、告知の義務化 - 紙QSLの削減要請 - 記念局（JARL分）の局数増 “JARL以外の記念局”の一般化 - 慢性的赤字化	JARLの規程と重複（冗長） 総通審査の厳格化・告知比での開設遅れ 公開運用または体験運用 対 一部が公開運用および体験運用 “Webなし記念局”散見 1 QSOごとに発行する局も 事務局の負担増： 7局/年 → 56局/年（2023年度） 0局/年 → 24局/年（2023年度） 収支差： 39,299万円 → ▲3,334万円（2023年度）
規程のわかりにくさ： ・ 無駄に重複 ・ 散逸	総務省 電波法関係審査基準 2001年制定 連盟 規定類 連盟が開設するアマチュア局（レピータ局及びアシスト局並びにリモコン局を除く。）に関する規程 特別局及び特別記念局の開設基準 1 特別局 2 特別記念局 3 開設申し出 様式 特別局・特別記念局開設申出書 特別局・特別記念局収支予算案 理事会での決めごと 非会員による運用（#447, 2001年10月） 別行事での、コールの再利用間隔（#484, 2006年2月） 地理的な運用場所・瞬間移動（#25, 2015年11月）	類似の規定の重複 散逸・埋没

図 特別局・特別記念局をめぐる課題

【E.4】「4.(1)③ jarl.comメール転送サービス」に関し、安定化、とくにスパム対策の強化を（BIGLOBEが、jarl.comサーバからの受信を一時制限）【意見】

あまりの流入トラフィック（スパム）の多さに、BIGLOBEがjarl.comメール転送サーバからの受信を制限する—というインシデントがあった（2023-10-24～28、右図に模式と統計値）。

これにより、一部jarl.comあての正規のメールの不達も発生した。

連盟の導入しているBarracuda社製メールフィルタの実力を、十分に活かしてきていないのではないか。

たとえば、
中国発信の、
・ETC利用照会サービス
・エポスカード

などを詐称したフィッシングメールは、いとも簡単に遮断できるはずである。

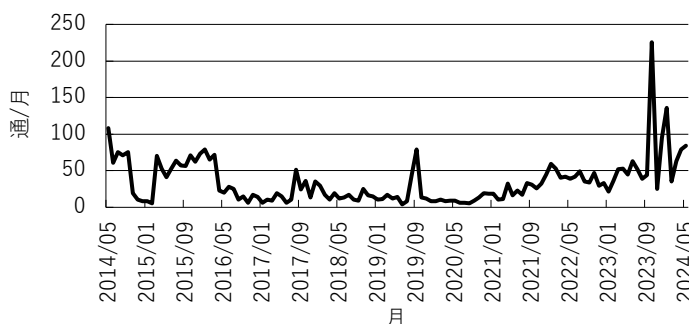
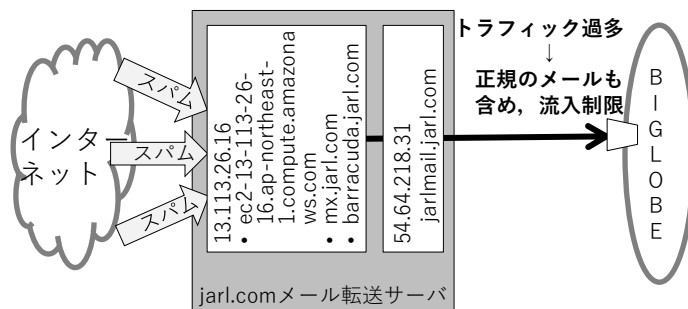


図 jarl.comのメール転送経路と
スパムの到来状況

【E.5】「4.(1)④ 会員在籍表彰」に関し、「会費「非」納入のライフメンバー」を対象から除外する、不当な差別の解消の、その後

検討の状況を確認したい。

（＜2023年度準備書面 森田会長回答＞会費納入の有無を問わず表彰するのが望ましいと考えますが、システムが対応できるか、事務局の作業量なども勘案して検討してみます。）

以下は主張の再掲である。

①制度の趣旨に照らし、「会費納入の有/無」を条件とした差別は発生しえない〔引用：令和3年度事業報告p.33； 今回の事業報告でも同一趣旨〕。

継続して在籍されアマチュア無線の向上と連盟事業の発展に寄与された会員の方々

②そもそも、ライフメンバーである/なしを問わず、「権利はおなじ」と説明していた（下図）。

ライフメンバーの方々は、選挙権、被選挙権、アワード、コンテスト、ARDF審判員の資格、各種の事業等に参加するなどの権利は、現行のとおりそのまま継続して受けることができます。

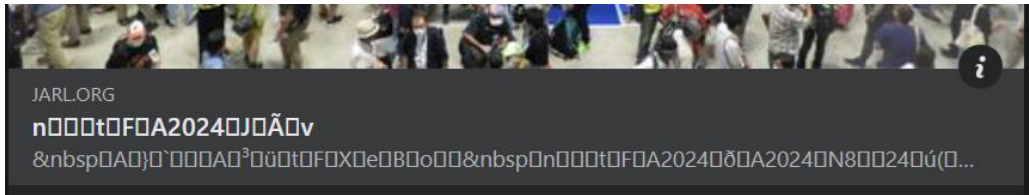
図 ライフメンバーの権利についての説明
〔JARL NEWS 2013年秋号p.19〕

【E.6】「4.(3)③ JARL Web」に関し、システムの陳腐化

いまとなっては、作りが古くなっているのではないか？

① 文字コード

下図は、FacebookでJARL Webをリンクし、文字がバケた例である。



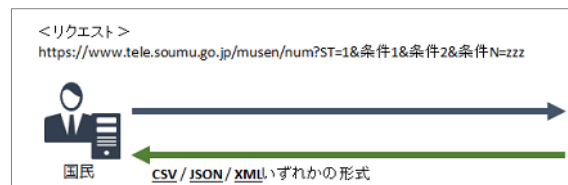
② jarl.comの、リクエスト～応答方式

○jarl.comはASP.NET

例：https://www.jarl.com/Page/Search/MemberSearch.aspx?Language=Jp

○cf. 総務省『電波利用ホームページ』
はREST方式

(URLパラメータによるク리에,
CSV / JSON / XMLで返答)



図引用『電波利用ホームページ』

③ URLの長さ

例：https://www.jarl.org/Japanese/6_Hajimeyo/6-1_Tanoshisa.htm

おそらく、「スマホがなかった時代」の遺物。(PCですら手入力難。)

【E.7】「4. 会員事業の推進」に関し、さきの選挙おける問題点（立候補者アンケートの実施者が、ある立候補者の推薦人）

以下の好ましくない行為があったが、今後どう考えるか。

① 立候補者JJ2JQFの推薦人JR1UJXが、そのことを伏せて、全立候補者にアンケートを実施。発表された結果（下図）について、およそ公平性は期待不可。

② また①の結果はYouTubeへの公開であり、これは「連盟の選挙の、広告収益化」に相当。



https://www.youtube.com/watch?v=fWGVFo4Tyo8



https://www.youtube.com/watch?v=b6trriWemMs

図 アンケート結果の発表

(「自身が立候補者JJ2JQFの推薦人であること」を伏せて、JR1UJXが実施
～作られたコンテンツに、公平性は期待できず)

【E.8】「5. 非常災害」に関し、『令和6年能登半島地震』への対応

以下の2点について確認したい。

- ① かつて『令和2年7月豪雨』の際に連盟がしつらえた10局——JG6YMK～T——を、北陸地方本部長、および/または、石川県支部長に、（空振りに終わろうが）即、送達しなかったのはなぜか。
- ② あれだけの災害にもかかわらず、さほどのアマチュアへの貢献が求められなかった今、活動の前提を見直すべきではないか（例：「Wi-Fiアクセスポイントの開設にむけた、人的・技術的貢献」）。
下表に分析する。

表 非常通信をめぐる状況

状況	考察
Health and Welfare Trafficの扱いは、能登半島地震では要請なし “大規模災害等発生時のアマチュア無線の有用性が改めて認識されている” 〔連盟側の認識、事業計画2.①(d)〕	発災時の“出番”は、もはや我々アマチュア側が思っている以上に、喪失
Starlinkに加え、今後のさらなるNTNの拡充（LEOの提供拡大・HAPSの実用化）	電源さえ確保できれば、インターネット通信・電話通信を疎通可 （アマチュア無線との差を埋め、むしろ超越）
『公共安全モバイルサービス』の開始（2024-04-01）	地上の商用移動体通信網の強靱化も進展中

【E.9】「以上のほか② 資格別門標板」に関し、販売時の資格確認は『無線局等情報検索』で（上位資格の取得時には、まず総務省へ変更申請を）〔意見〕

掲題の方法のほうが、以下の観点から、より望ましいのではないかと：

- ① 「門標」と「総務省公開データ」との、齟齬の解消
- ② 購入者の手続きの、二度手間の解消： 対 総務省、対 連盟（紙コピー提出）
- ③ 総務省のデータの積極利用化： デジタル化・APIエコノミーへの参画

2023年9月以降、『周波数等の一括表示記号』1AF～4AMの公開によって、把握可である。下図にまとめる。

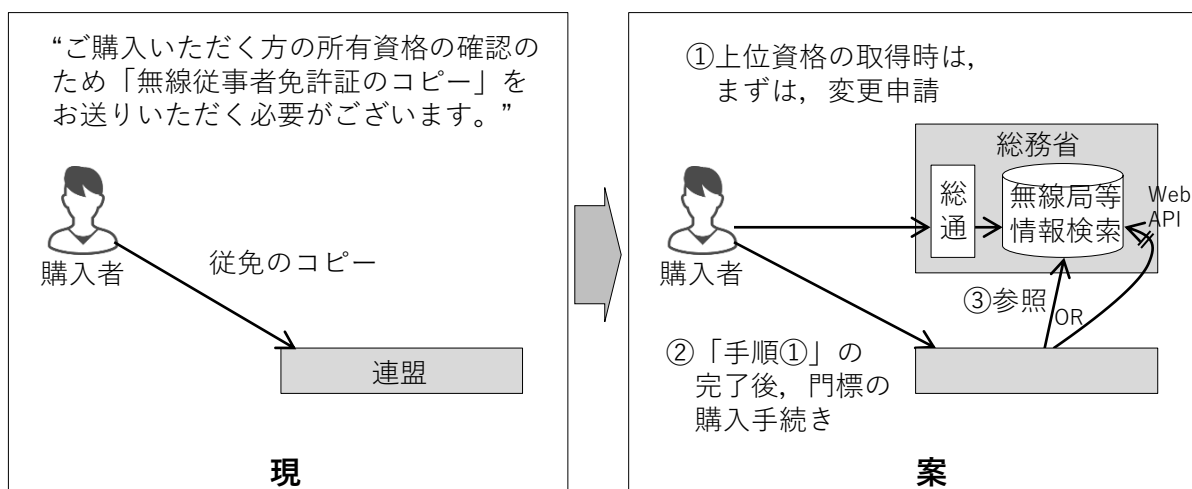


図 門標販売時の手順案

F. 『収支予算』について

【F.1】2024年度予算の蓋然性

会員数は減少トレンドに入っている（下図）。

- ① こうした中、予算で期待するような「会員増」はおろか、「現状維持」すら危ういのではないか？

（＜2023年度準備書面 森田会長回答＞ 来年度は、現実的な予算を立てたいと思います。）

- ② 第1四半期が終わろうとしているが、予算どおり推移しているか？

例：・正員入会金 245万円/年（昨年度実績比 +43万円），

・正員会費 30,100万円/年（同 +838万円）。

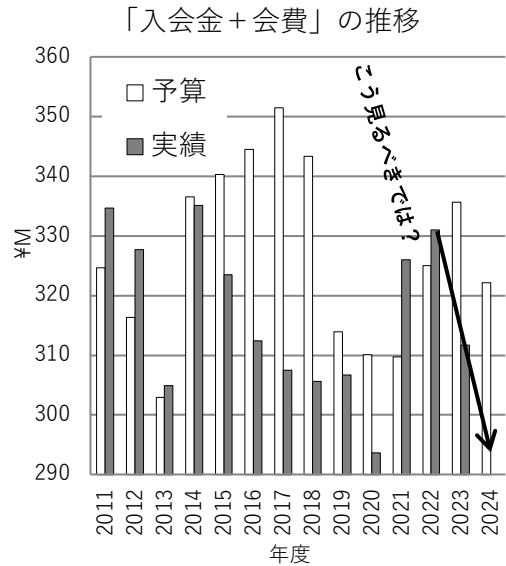
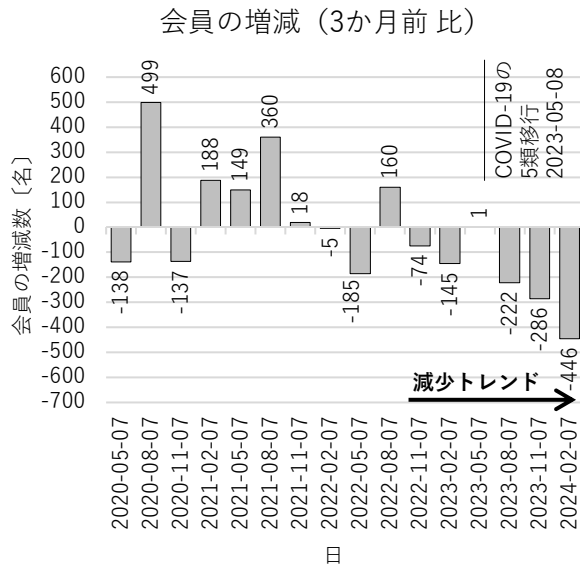


図 会員の増減のトレンド（左），「入会金+会費」の予実実績（右）

【F.2】いまの「年度末1か月前の補正予算」は実態として無意味、今後は取りやめを「意見」

財政状況の適宜開示は、ありがたい。

しかし、
「年度が3月末に締まる」直前の、
「2月末」に補正予算を示されても、
打てる手立てはほぼなく、
「実態として無意味」である（右図）。

そうした「無意味な補正予算」の作成に割く稼働（工数）があるのなら、むしろ、以下に使っていただきたい：

- ・ 中期経営計画の策定
- ・ 事務局の負荷軽減（残業減による支出の抑制）

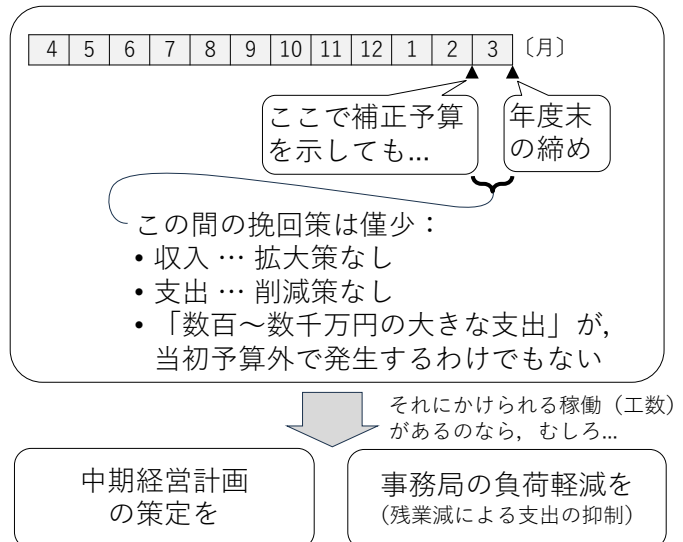


図 実態として無意味な補正予算

G. 『事業計画』について

【G.1】「1.(1)①(b) ローバンド」に関し、不要となるAM放送の電波塔の、解体前の借用を [意見]

各放送事業者のAM放送の電波塔については、利用の終了が2028年に見込まれる（除 ABS・HBC・STV, NHK）。

またとない貴重な機会であるので、解体前にアマチュアにとって実験の機会が得られるよう、連盟も積極関与し、進めていただきたい。

各放送局のクラブなどとの連携が有効かもしれない。

1.9MHz（とくに、 $954\text{kHz} \times 2 = 1908\text{kHz}$ ）、あるいは、 $135\text{kHz} \cdot 475\text{kHz}$ での、伝搬実験・国際コンテスト参加をおもに想定する。

【G.2】「1.(4)会員サービス」に関し、「音信不通の会員」の「退会」扱いを [意見]

2021年末の会員台帳整備において、郵送物が「宛先不明」で不達の正員（おもにライフメンバーと推察）については、「准員に移行させ、引き続き留め置いている」——との回答であった〔2023年準備書面 前会長回答〕。

しかしそうした場合、以下の問題点があるのだから、さらに一步踏み込んだ措置を期待する。

- ① 問題の先送り： 会員台帳の不適切さが継続
（「局免切れ正員」は一掃されても、こんどは「准員」が混沌化）
- ② 本人の知らぬところで、『局名録』への、氏名・住所の掲載が継続

【G.3】「2.(4)会員サービス」に関し、業務システムの更改見通し

TSSからアグレックスへの移管から十年ほどが経過し、そろそろ更改の時期に来ていると推察する。

更改には1千万円単位の費用が発生しかねないであろうことから、見通しを確認したい。

【G.4】「3① 組織の透明化」に関し、オーセンスの連盟担当弁護士への懲戒請求

西尾公伸・森中剛の両弁護士は、問題のあった前会長の私的ともいえる擁護に終始し、連盟の運営を3年間に亘って混乱させてきた。（ほかに、「コールサインが個人情報」とも。）

よって掲題の請求をするのが妥当ではないか。

H. 過去の社員総会での提起事項 [意見]

以降の表に、これまでの準備書面が出された意見をまとめる。これらはけっして、「専務理事が流して答えて解決済み」というわけではない。

凡例

- 左欄…分類
- 右欄…内容
- []…提案者のサフィックス、および、提案年の西暦下二桁
- 《》…その後の状況変化

社員総会提起事項

財政（1/2）		
大枠		- 資料中の作表法：前年度「実績」と今年度予算との対比で [GXU14・EEH19] - 貸貸対照表・財務諸表の、分析・検証のありかた [DFJ20] - 費目の分離を：社団局会費・8Jなどの局・転送手数料 [KCW21]
財政健全化	赤字解消	- 赤字解消に向けての見通し／今後の展望（破綻しかねず）／財産が減少、運営に心せよ [HBF20・HCL20・LFV15・OEP15・RNL23] - 経営安定化・黒字化 [AAA16・ANO19・BCE16・DSN23・IKD17・JOK16・LFV17・MYB16・PHW22・QZN16・WTL16] - 改善策（赤字の理由・補填策の総会での承認を） [DFJ23・LXU23] - 方策（健全財政計画） [EEH21・EEH23・HBF20・HBF21・HBF23・MYB20・XKH21・XKH23] - 解消の能力の開陳（無借金が健全経営？） [HBF20・HBF21・HBF22] 「破綻しない」とする理由 [LXU22・LXU23] - 意欲 [LXU23] - 収入の規模に見合った予算策定（現実的な収入見通し・支出の見極め） [AAA18・EEH22・EEH23・ETK23] - 正員有識者による特別委員会を：分析～解決策検討 [LXU23] - 収益事業の模索を [EUJ19]
	経営責任	- 会長・専務理事の経営責任の明確化 [DFJ20] - 株式会社でも一般社団法人でも、ともに赤字なら破綻（会長は両者は「性格が違う」と訴求） [WTL20] - ライフメンバー制度移行の効果検証（経営は非改善） [JOK17] 「ライフメンバー化で黒字化」（専務理事・当時）のはずが、結果として未達 [IKD20]
	予実管理	- 予実管理の甘さ [DFJ20・HBF20・IKD20] - 入会者数の予算未達の原因精査（見積が甘い） [EUJ20] - 会員増の見通し（総枠としての予算・実績管理を） [WTL20]
	中期施策	- 中期経営計画の策定 [DFJ20・DFJ23・HHN18・IJY21・WTL20・XKH22・XKH23] - 財政健全化の目標年・黒字化計画の呈示 [IKD18・IKD21・JOK17・RVM21] - 財政改善の目標値 [EEH20] - 経営専門委員会（CEO）・中期計画検討委員会の設置 [QZN16・VQA16] - コンサル指導受（含 要/否の検証） [DFJ20・DSN21]
地方本部・支部		「地方本部」の決算報告を [RTS15] - 地方本部費・支部費の管理の適正化（赤字解消への寄与） [FVX16・OJO17] - 地方本部間の格差是正；会員一人あたりでみた支部費の格差～適正な格差範囲 [LWP12・WTL15] - 支部費の傾斜配分：事業計画見合いで [CBH22]

財政 (2/2)		
会費	増額	• QSL：発送費用増・消費増税[HGY15]
	据え置き	• サービスの縮小はやむなし[RTS23]
	減額（割引）	• 社団局会費（個人局との二重取り／登録クラブは日々貢献大）[CTE16・DSN16・DOR18・EEH20・HHN16・JIX20・PFW15・PFW16・THO19・WTL15] • 社団局会費（登録クラブの）[KCW21・PFW18・WTL18] • 社団局会費（登録クラブの；JARL NEWSの送付取りやめで）[EEH23] • 社団局会費（支部直轄の）[JNA23・NC18・WTL16] • 社団局会費（記念局の）[KCW21] • 社団局会費（指定変更で記念局に化けている間の母体側の）[KCW21] • 社団局会費（個人会員とのQSL転送数の比較）[KCW21] • 学校クラブの支援[HHN18] • 青少年会費：助成金ではなく、会費メニュー化[BFA12・FFN16・WTL15・WTL16] • 青少年優遇：会費・ハムフェア入場料[HHN18・RKA23] • 障害者[OEP12] • 家族[DOR14] • 長期（「5年」メニューの新設～会員繋ぎ留め）[OED18・WTL16] • QSL転送料：記念局・体験局の（開設期間比例に）[HYT20・MUY20・MUY21] • 会員数増ねらいで[CTE16]
収益増施策	収益事業	• 検討・実施（受験対策，申請代行）[IOT18・JOK17] • 養成課程講習会[IOT17・IOT18・PFW16]
	その他	• 非会員の有料化・差額増（連盟行事参加料・D-STAR管理サーバ・アワード申請料・物販）[MUY20・MUY21] • 物販価格の適正化[MUY21]
支出「増」関連		• 会員むけ被災時見舞金[DSN23] • 職員のベースアップ（前回の消費増税で実質減給）[WTL15]
支出「減」関連	JARL NEWS	• アウトソース化[IOT17] • 紙版の有料化[HHN18・WDL18] • 「複数@同一世帯」の解消（郵送費の削減）[EUJ20] • 電子版の推進：紙版のコスト減（および省資源化）[BIB22・HYT20・XKH22] • 監修誌との重複解消でコストダウン[XKH21]
	その他	• 行事の地方本部・複数支部合同化[MUY21] • 『補助局』の廃止[WTL15] • （シルバー）人材の活用（例：事務局業務のアウトソース化）[IOT18] • JARL Webでの、支部行事の支部Webへの単純リンク化（事務局の負荷軽減～費用削減）[WTL15]

組織運営 (1/2)		
組織 その もの	大義	・将来性・存在意義^[CTE16] ・事業・運営の目的～事例反省～課題方向性^[DND20]
	あり 方	・JARDとの統合^[IKD17・IKD18・WTL16] ・ライセンスフリー愛好家との統合：「日本無線連盟」^[CCD19]
運営法		・JARDとの連携（JARDは第三者通信・社会貢献制度・免許制度で提言）^[HBF19]《体験局制度・デジタルモードの手続き簡素化の導入》 ・「後進の指導にリタイヤ者の活用」の具体的内容^[PHW20] ・私物化・利権化しない運営^[CTE16] ・批判の受容を：事実隠蔽・言論弾圧・批判的な役員の排斥はだめ^[ANO22] ・会員からの意見募集を^[IKD20] ・話し合いを（怪文書ではなく・総会以外の場でも）^[BIB22・CBH21・DSN20・FFN22] ・社員懇談会を：相互意見交換・執行部との対話^[LGW23]《社員メーリングリストを開設》 ・アマチュアコードの唱和を（理事会・委員会・社員総会^[MUY23]
会員管理		・コールが非会員に再割り当て（『局名録』vs 実在で相違のリスク）^[WDL20・WTL20] ・SK時の扱い（身寄りなく確認ハガキへの返信がない会員）^[WDL20] ・准員ライフメンバーの再整理（退会措置）を^[BIB22・CBH22]
社員管理		・局免切れ発生時の早期対応策^[RKA23]
クラブの状況認識		・社団局：疲弊：COVID-19にともなう諸活動の見合わせで、会費徴収・引継ぎに難航～退会・解散^[RKA23] ・登録クラブ：更新期間が厳しすぎ^[RKA23]
個人 情報 保護	一般	・GDPR対応^[PHW20] ・QSLカード記載の住所の転用禁止（例：政党広報誌の送付）^[EUJ17]
	局名録	・「総務省公表範囲」のみ^[RKA23] ・「総務省公表範囲＋本人承諾の強化」で、従来程度^[RNL20] ・あり方の見直し（個人情報保護の最新の動向に沿わせ）^[PHW20] ・転売対策（禁止の明記）^[EUJ17・EUJ19・OEP17] ・回収策^[OEP17]
規定整備		・『電波法関係審査基準』のアマチュア無線関連部分の配布^[WTL16] ・局免切れ社団会員の扱い^[KCW21] ・「記念局で入会→一般社団局に切り替え」時の扱い^[KCW21] ・地方本部長・支部長空席時の臨時規定（クラブ規定上）^[KCW21]

組織運営 (2/2)		
支部	あり方	• あるべき姿（財政健全化とは分離した議論の上で）[OJO16] • エリア支部への移行：現在の支部体制になった1973(S48)年と会員規模が類似（1974(S49)年が5.8万会員）／支部長立候補なし8支部《2020年は福井のみ》／宮崎は支部長空席1年以上《解消》／空知留萌は全国唯一Webなし《2017年5月開設》／予算・活動を縮小の支部も[ARW15・ARW16・WFM13・WTL15]
	支部大会	• 意見交換を[HHN16] • 決算・予算の報告を[HHN16・HHN18] • 費用面から、「会長は毎年呼ばない」配慮も要（祝辞・リモートなどで代替）[CBH22] • 「景品での集客」は疑問[HHN18] • 電報での「会長祝電」を支部長あて電子メールに[ETK23]
	役員人材	• 今後の支部長の不在化対策（組織改革：高齢化対応）[ARW18・ARW22] • 役員名の、「規程」と「実態」との整合：規程上は支部長・監査指導委員長・運営委員のみ[JNA22・JNA23] • 支部長指名の“イエスマン”の跋扈，連盟役員の人事介入疑惑，登録クラブ輩出に限定[WTL22] • 名ばかり役員の排除：会員～役員で連絡できる体制[HHN19] • 社員・支部長の役割のガイドライン化（社員が支部運営に介入）[DSN20]
委員会	全般	• 議事録の開示[RTS17・RTS18・RTS19] • 専門委員会の窓口設定[DSN17] • 委員の推薦基準明確化・公募化[EUJ18] • 地方本部区域ごと選出社員の委員会参加（含 新委員会の設置，含 オブザーバ）[LGW23]
	監査指導	• あり方：全国共通の監査指導（監査指導業務は定款上も定めあり，実態はガイダンス局の運用のみ）／該検討のその後[KF16・NC17・BFA13・BFA16] • 積極活動の監査長の選定を（規正局との合同運用が，過去3年間，関東・中国・九州・信越ではなし）[PHW23] • 監査指導員の活用（“名ばかり”も）[HHN18]
広報		• 広報大使：選定理由など[EUJ19] • 地方本部・支部の役員への研修：不適切な情報発信・パワハラ[RNL23]
100周年	方針	• 早期準備着手で[JNA22]《独立WG化》 • 「1年前倒し」の解消（“90周年を迎える1年”を繰り返さない）[JNA22]
	行事案	• 祝賀式[JNA22] • 記念誌[JNA22] • 記念局[JNA22] • 記念アワード[JNA22] • DXペディション（例：Scarborough・Pratas・南鳥島）[JNA22・JNA23]

理事		
選任	否決	- 多くの会員が選んだ候補を，少数の社員が否決[DBQ13・FVX14・HIC15・STY13・WFM13・CBH21] - 制度上，半端[OJO17] - 再発防止[GXU13・VQA13(締切後着)・VQA14] - 見直し検討の有無・内容・目標時期[BCE14・HBF21] - 理事は選挙で即選任に（推薦理事・推薦監事は社員総会の決議）[HIC12] - 欠員補充の規定を：現状，選任後…規程あり，否認…規定なし[FNL23]
	投票法	- 対象者のグループ分け：(1)投票で当選・(2)無投票当選・(3)理事会推薦[GXU12] - 記名投票化（写真撮影）[GXU14・WFM14]
	条件	- 学歴・経歴の提示の必要性[GXU12] - 役員の資格等の，選挙管理委員会・理事会による確認（一般社団・一般財団法人法65条）／「反社会勢力と無関係」の旨の確認／利益相反関係の呈示（とくにJARDとの兼任者）[GXU14]
	候補者についての情報	公開不足：実績・考え方，理事会での各理事の意見・賛否行動（略歴・職業ではなく）[DND22]
	任期	旧理事会の予算で新理事会が執行：地方本部理事2期連続，理事は2年ごと半数改選などを[GXU14]
推薦理事・監事		選考過程（基準）～期待[AAA16・WFM14]
専務理事		- 専務理事の選任を[EEH23] - コンプライアンス上 必要：役割分担・相互牽制[FNL23] - 経験豊富な会員から[RTS23] - 報酬引き下げ[RTS23]
スキル		- 一アマの取得：記念局運用時の自由度[OEP16] - 会員・役員の教育[CCD19] - もっと運用を[CBH22]
理事会		- 総務省への要望は理事会承認を経て[MYB20] - 理事会内の意思疎通を[FFN20] - Hamvention（米）・Ham Radio（独）との日程競合回避[WTL18・WTL19] - 執行部～社員の対話の場を[RKA23] - JH1XUPによる翌年度予算の先食いの精査[MUY23]
会長		「会長OBは80歳超で名誉会員に社員総会に提案」に[ARW18・ARW22]
ただし書き地方本部長		理事会への出席（地方本部・支部運営に支障）[ARW16・EEH21]

参与	
選任	- 高齢すぎ～順繰りな入れ替え（次世代の育成）を[WTL15] 「経営」に強い方を[WTL15]

社員総会		
運営	事前	・準備書面への書面回答を，議決権行使書の期限前に[EEH20] ・議案に「その他」がない（一般にはあり）[WDL20] ・『議決権行使書』用紙の，事務局以外からの配布の差し止め[DSN20]
	当日全般	・議長の公正なふるまい[HBf19] ・質問終了の確認ののちに打ち切りを[HBf21・RKA23] ・関連質問の許容（つぎの質問者に回り，結果，関連質問できず）[HBf21] ・社員総会での個別決議が，議事運営規程に優先[BIB21]
	当日採決	・明確化，事後検証の可能化[EEH19・HBf19] ・議決権行使書，委任・被委任のトレーサビリティ確保・公開[HBf20・HBf21] ・「投票」で（無記名，三つの投票箱〔賛成・反対・保留棄権〕，立ち会い）[HBf20・HBf21・RKA23] ・議場閉鎖と，議決権の員数確認～議決権総数と有効投票総数の整合確認[HBf20・HBf21・RKA23] ・投票箱の同時開票[HBf20] ・公表：投票総数・賛否の数[RKA23] ・公開：委任状の委任者・被委任者[RKA23] ・公開：投票者の賛否[RKA23]
	傍聴人対応	・資料閲覧時の電子化[DBQ13]
準備書面		・事前に書面で質問～事前に書面で回答に[HBf16・EEH21]《2023年は「事後」配布に》 ・まずい引用の制限～事務局による削除許可／提出者による個人情報記述の回避／ガイドライン作成・ひな形化[OEP16・OEP17・OEP18] ・改竄禁止，もしするなら該当法令の条文・役職氏名の記載[ETK21・ETK23]
公開		・映像・音声[BIB22・DFJ23・HBf22・HBf23・LGW23・RKA23] ・インターネット中継（手が足りないならボランティアで，YouTubeの限定配信機能も）[CBH22・FNL23・HBf22・LGW23・RKA23・RTS16・RVM21・WTL16・WTL17・XKH21・XKH22・XKH23]

選挙制度			
全般			・周知：Webでわかりにくい（トピックスでも「選挙の告示」と）[HBF16・RKA23] ・選挙管理会：社員総会における管理人の選任[LXU23] ・業務委託先：要件の設定[LXU23] ・立候補者とのQ&Aシステム[RKA23]
公報	無投票当選者の所信		・公表を：投票／無投票での、当選者の個人情報開示の格差 ○投票のエリア…インターネット上に暴かれ ○無投票のエリア…なにもなし[WTL15・WTL22]
	様式		・簡素化：印字位置合わせが負担[WTL18] ・顔写真掲載[HHN18]
根本的制度改革	全般		・現選挙制度に対する認識／それを検討する専門委員会の要否[HBF16] ・多選制限（組織の硬直化の回避）[RKA23] ・退任前の社員が次期の理事を選任：「新社員が新理事を選任」に[DBQ13]
	理事		・12年間の実運営の結果を経て見直しを：「理事への選任否決」では、会員に投票させた意味なし[WTL23] ・全国理事候補社員選挙に：非選任でも社員として残る[ETK23] ・「落とす選挙」に：不適格者を複数投票，不適格票が過半なら落選，少ない者から最大で定数まで[ETK23] ・年齢・重任制限の復活[WTL23]
	社員	定数見直し	・1票の格差（関東では，20名→31.5名（2022）～31.7名（2023）が適正）[FNL23・WTL22] ・「融通した先のエリア」で枠未達～ならば枠を関東に戻せ[WTL15] ・定数上限比での，のこり2枠の関東への分配[RKA23] ・地方本部→全国区化[FNL23] ・定款改正：正員の「等しく社員を選挙する権利」の取り下げ[FNL23]
		支部長枠	・支部長と社員とでは「ふさわしさ」は相違[WFM13] 《2024年選挙公報で差異化》 ・社員である必要性なし（規模のバラつきで公平性なし・「地域に根差した質問」の実績なし）[FNL23] ・「出席・発言権を維持，議決権はなし」に[FNL23] ・「社員でない支部長」の，社員への信任投票を[RKA23]
		その他	・WAKAMONO枠（全国枠）[RKA23] ・無投票選挙区で欠員時には補充選を[RKA23] ・被選挙権：連続3年以上を通算3年以上へ[RKA23]

会員増		
勧誘施策	全般	・期待する [OEP14] ・予算投入で会員増強を [THO18] ・会員増強策／減少の歯止め策 [ANO18・EEH18・LFV17] ・「現会員引き留め」よりも「新規入会者増」の重視を [FFN22] ・局数減対策 [HHN18] ・施策と成果との、コストパフォーマンスレシオ [AAA18・WTL18] ・“2022年の壁”対応（旧スブリアス規格機利用者の脱落防止） [WTL19] 《実態として延期》 ・広範囲への呼びかけの依頼 [MUY19] ・効果検証：会員増強コスト（費用対効果の分析を）、お試し入会後の継続率、非継続時の理由調査 [MYB20・EEH21] ・効果検証：会員期間延長のコスト [MYB20] ・局数が増えない要因の検証（対策不足・方向性の誤りなら、会長・専務理事に責） [HBF20] ・「正員」増にむけての総括 [DND22]
	対象	・新規会員：現状、現会員の維持の施策が中心に見える [FFN23] ・カムバック組（相談受け・勧誘強化） [STY14・HHN18・MUY20・CBH21] ・新規開局者への近隣登録クラブの案内 [HHN18] ・青少年 [STY14・CBH21] ・ドローン愛好家、その際の語り方 [EUJ17・WTL17] ・ライセンスフリー愛好者 [CCD19]
	訴求法	・アマチュア無線への勧誘策の見直し、毎年同じことの繰り返し～抜本的・有効な対策 [PTK12・BFA13・WTL16] ・「連絡に便利」ではなく「アマチュア無線でしかできないこと」で [EUJ17]
	制度	・SWLお試し入会の年齢制限緩和 [THO17] ・安価な新会員制度 [IOT17] 《キャンペーンあり》
広報案	全般	・イベントでの講演 [DSN15] ・会員による広報（結果により表彰） [MUY20] ・『JARL NEWS』余剰バックナンバーのPR配布 [DSN15] ・Webでの紹介（NHKマサカメTVのARISSスクールコンタクト、防災関連活動）《動画コンテンツ（ただしオリジナル）を用意》 [DSN15] ・特集記事：高齢化で設備を撤去しても、小さな設備でも続けられる [DSN19] ・ビギナーむけWeb記事は、ビギナーの監修を [FEH22]
	動画	・YouTuber（インフルエンサー）との連携 [THO17] ・様々なモード・通信、活動、実運用 [MUY20] ・外国語での交信例（外国語教員の誘引） [THO18・THO19]

青少年育成		
全般		・初心者ガイド・支援する仕組み[XKH22・XKH23] ・講習：技術・ステップアップ[MUY19・RVM21] ・イベント参加者へのお試し入会の勧誘：体験局・ARISSスクールコンタクト[MUY22] ・お試し入会后、継続しなかった人（62％）からの理由聴取[HCL18] ・効果的施策で（いまは成果が感じられない）[HBF21]
他団体連携		・ボーイスカウト日本連盟「以外」[LDY21] ・YOTA：JARL 100周年などで[JNA22・JNA23]《R3 YOTA Campで連携》 ・「若年層による企画」への協賛[DFJ20]
広報		・連盟の局による啓発[BTS16・WTL16] ・少年雑誌への広告[FFN16] ・活動紹介用DVD[FEH22] ・子供が集まる場所での展示・運用[HHN18] ・「体験運用中」ののぼり（旗）作成[JNA23] ・「コミックマーケット」などへの出展，併せてのコンテスト・会場内運用[RKA23]
コンテスト		・部門新設：シングルOPジュニア[RVM21・RKA23] ・賞状：下位まで発行[RVM21]
経済的支援		・次世代育成施策（含 予算付与）[EEH20・HCL16] ・助成継続[FEH22] ・ハムフェア：引率の先生の入場料 [MUY19] ・アワード：申請費用 [RNL20・RNL23] ・ARDF：学校団体・青少年の参加者[DFJ20] ・体験用機材の貸し出し[RKA23・RVM21] ・衛星積立基金の活用：ARISSスクールコンタクト・大学衛星[PHW23]
学校クラブ	条件緩和	・『学校クラブ』の代表者・連絡者：「会員」はおろか「ハム」の先生すら，もはや希少[WTL17] ・助成条件：登録クラブ化→学校長推薦[THO17] ・更新手続きの簡素化（公印入り書類は入手難）[RKA23]
	大学社团局	・周辺者の受け入れ依頼[RKA23] ・位置づけの一貫性に欠如：教員・OBが主体の登録クラブもあり[RKA23]
子供の日8J1RL交信		・体験運用扱いによる交信機会増を[PHW22] ・JA1RL絶対優先も，「コンディションが悪い場合」の対処法を[EUJ18]
WAKAMON Oイベント		・東京以外での開催[EEH19・HCL19] ・JARD連携[EEH19] ・開催意義：ハムフェアへの組み込みでの削減額[EEH20] ・訴求法：景品よりも，実験研鑽の機会を[DFJ20] ・効果検証[EEH19・DFJ20] ・意見募集：時期・内容[RVM21・RKA23]
ARISSスクールコンタクト		・日本語での推進～興味獲得[PHW23]

ハムフェア	
収支公開	・ 入場人数算定明確化^[RKA23] ・ 総経費の公開^[RKA23]
コスト削減策	・ 遊休スペースの削減（含 屋上）^[RKA23] ・ コンセント付き卓の集中化^[RKA23]
女性無料	・ 効果測定^[CCD18] ・ 近年ではむしろ「ジェンダー平等」のうごき^[WTL22]
内容	・ 魅力あるコンテンツ（例：特別記念局の体験運用・特殊モード運用）^[RKA23] ・ アイディアの募集を（例：会場内ガイド付きツアー・講演会場でのライトニングトーク）^[FNL23] 《ツアーは一部実施（2023）》
準備段階	・ 出展資料：Web掲載に^[RKA23] ・ 小間割り抽選会：週末開催に^[RKA23]
当日運営	・ 脚立：配備を^[RKA23]

会員サービス		
そもそも論		・「会員メリット」を考えよ[JOK16・VQA15] ・会員数維持のための施策（赤字によるサービス低下の危惧） [JOK16] ・非会員との格差付けを [MUY19・MUY20・MUY21]
具体的 施策案	免許申請支援	・再免許手続き支援（無料） [HIC16] ・局免切れ前に通知[EEH21] ・デジタルモードの申請の雛形の提供[EUJ19]
	学習支援	・資格取得後の（知識の）フォローアップ[OEP16] ・上級資格セミナー・受講費用の割引[FEH22]
	事務局	・問い合わせ・相談の受付窓口（旧 技術研究所 相当） [XKH22・XKH23] ・業務時間の拡大[HHN19] ・週末の窓口対応（会員増強施策としても；月1回でも） [BTS16・HHN18・LWP12・WTL16]
	その他	・終活支援（互助会）：リグ・アンテナの融通，産業遺産の収集 [MUY22・RKA23] ・アプリ（会員なら無料） [DSN21] ・法令解説（解釈の基準の策定） [RKA23] ・ハンドブックの発行[RKA23] ・アマチュアむけソフトウェアの承継手段の用意[RKA23] ・自作品コンテストのソフトウェア部門[RKA23] ・物販の，ECサイト活用：利便性の向上（現状は郵便振替のみ） [RKA23] ・クレジットカード・口座振込の対応拡大[RKA23]
登録クラブ		・クラブ規程との齟齬：連盟の周知事項が優先して受けられていない[RTS15・WTL15・WTL19]
会員在籍表彰		・「会費非納入のライフメンバー」も対象に[RTS22・RTS23・WTL22・WTL23]
JARL NEWS		・情報交換の場の設定（あげます・ください） [DSN17] ・テキストデータの可読化（障害者対応，点字版の代替） [PHW22]
コンテスト		・デジタルモードの追加（D-STAR以外も） [KCW16・LKB18] ・Twitterなどの利用の禁止化[WTL16] ・新設（ローカル／マラソン） [DFJ19] ・ノベルティは当選者の公表を（非公表を希望なら あらかじめ受賞辞退） [DFJ23]
non-JARL記念局		・諸費用の一定額負担：局免申請・QSLカード転送[RKA23]
アワード	新設	・新アワードによる活性化（既存アワードの“上がり組”対策） [KCW16]
	LoTW活用	・JARLのアワードの発行（JCC/JCGほか） [DND20・DND22・HCL17・HCL18・HCL19・HCL20・VQA18] ・要件からのRSTの削除（LoTW対応に必要） [JQF21・JQF22] 《「自身手元のログからRSTを補完」の代替策呈示》
ARDF		・他団体への運営委託[NC17] ・入門への契機に[KCW17] ・ARDFへの支援を[ANO19・DSN19]
衛星		・関連組織との連携の仕組みを（例：アマチュア衛星開発支援プロジェクト） [DFJ23]
モース電信技能認定		・英文併記（海外での免許申請時のCWスキルの証明書に） [WTL19]

QSL		
遅延対策		・ 認識・要因・周知を・半年会員には期間中に未着[WTL22] ・ 半年会員の入会受付停止[WTL23] ・ お試し入会会員あての優先を[BAT22] ・ カードの転送救済（1年間を超えても・2年目は無料に、とくにお試し会員）[DOR23・FNL23・RKA23] ・ 対処予算の増額を[WTL22] ・ 転送安定化を[PHW22・RTS22]
電 子 化	進め方	・ 取り組む意志[RPZ23] ・ 手法・計画・早期実現・実現時期の明確化[EEH19・ETK22・HCL19・IKD19・LDY22・PHW19] ・ この先の検討期間[EEH23] ・ 事業性評価[DFJ19・EUJ19・WTL19] ・ 会員の声に耳を（期待，目的，電子版導入，紙版・電子版二重運用に伴うコスト増）[ETK22・MYB20・PHW18・PHW20・PHW21・PHW22] ・ 会員の利用環境の調査の有/無[MYB20]
	機能	・ 照合機能の実装，アワード発行とのリンク[AAA16・CFA17・DFJ20・HCL16・HCL17・KCW16・QH16・RTS14・WTL16] ・ LoTWへの連携（全世界のアワードに通用）[HHN18]
	既存システムの活用	・ 既存システムの活用を[CBH22・DSN22・EUJ20] ・ 答申差し戻し（#49理事会）～再検討も，すでにHamlogが電子QSLシステムを構築[PHW20] ・ hQSLの活用を[CBH21・PHW2・WTL22] ・ hQSLの取り込み（非会員の排除を維持）[EEH23・PHW22・RKA23]
総 量 削 減	コンテストで	・ 理事会は「電子QSLの推進」を理由に否決；一方で電子QSLの推進も否決（矛盾&本来は別の議論）[HBF20] ・ 会員/非会員でコンテストナンバーを分離[MUY20・MUY21]
	一般	・ カード所持不要なアワード化[LXU22] ・ SDGs（森林資源保護）の視点を：800本台/年に相当[LXU22・LXU23] ・ 非会員検索の改善・転送可能リスト：不達QSLの削減[DSN20・PHW23] ・ JARL記念局は複数QSO一括記載に[LXU23]
コ ス ト	賦課	・ 専用の袋・箱による受付で従量化（会費からの充当分は「転送基本料」扱い，ライフメンバーは同納付済みで優遇）[MUY20・MUY21・MUY22・MUY23] ・ 「会費値下げ+QSL転送従量制」に：「半数の転送なし会員」vs「一部の1000～1500枚/月の会員」[DSN18]
	削減	・ 転送コスト減[LXU22・OIN18]《郵便料金値上げ発表》
ビューロー		・ ビューロー存続のための施策[CFA17] ・ 業者が契約を更新しない場合に備えたバックアッププラン[BIB23]《検討してはいるも，報告できる段階にない》 ・ 処理の地域分散による島根への集中回避（人材はボランティア・か，事業者・PFIの活用で）[LGW23・RKA23]
その他		・ スキャンによる保存の許容（現状，アワードの異議申し立てに備え原紙の保存要）[WTL15] ・ 「記念局あて」などの廃棄（負荷軽減，本来できないはずの「via個人コール」での到着例あり）[DSN18]

Web活用		
全般		・改善：わかりやすく・迅速に（コンテスト結果を『トピックス』側でも告知／社員総会の開催周知）[HHN18・JNA16・WTL17] ・陳腐化と乱雑さの解消[WTL18] ・動画コンテンツ強化（電鍵はわかりやすさからは縦振れ，ワクワク感（RSGB比），効果測定，出演希望者公募）[EUJ17] ・jarl.com割当容量増（現状5MB）[WTL15] ・支部などによる外部サイトの巻き取り：(1)セキュリティ面・(2)情報の散逸防止・(3)支部役員交代時の継承性[WTL15] ・URLの短縮[WTL18] ・『電子版JARL NEWS』全バックナンバーの「Flash」からの移行（取りこぼし号あり）[WTL20]
コンテンツ	連盟の情報（一般）	・専門委員会の状況報告[DSN17] ・未掲載の規定類（例：地方本部組織運営規定）[WTL22] ・非常通信体制図（最新）[MUY22・MUY23] ・JARLのロゴデータ[VQA15] ・会員証のPDF化・アプリ化[EEH17]《会員手帳はPDF化ずみ》 ・コンテストにむけてのカウントダウン（開始まで・終了まで）[EUJ18]
	連盟の情報（定量データ）	・歴代コンテスト結果[AXB16] ・ARDF大会などの結果[JNA16] ・会員数[JNA16]
	一般の情報	・違反の具体的内容（総通発表の補足で法令遵守を啓蒙）[EUJ17] ・電波障害対策（リンク集）[DSN16] ・デジタルモードの諸元[JNA16] ・新スプリアス規格移行情報[JNA16] ・海外運用（レシプロ）情報（未掲載国の記載追加など）[WTL17・WTL18]
	社会貢献ガイドライン	・見つけにくく・長文で不明瞭[EEH22] ・バンドプランへのリンクを[MUY22]
	双方向化	・局名録への掲載範囲の選択機能[EUJ19] ・目安箱（意見募集，会員のみ）[DLY22]
	会員外公開	・社員総会・理事会関連，会員手帳，JARL NEWS[RKA23]

監査指導（1/2）		
法令上問題（2/2）	全般	・行政処分者の頻出の解消[OEP16] ・「従免あり」でも開局手続きを取らない（摘発報道）[EUJ18] ・テレビ・映画などでのアマチュア無線機の問題がある使用方の解消[OEP16] ・アマチュア無線免許所持者を優遇する求人広告[EUJ17] ・デジタルモードでの使用区分逸脱[OHZ18] ・不法局・違法局対策（オーバーパワー・コールサイン未送出・仕事の話）[CBH22・EUJ20・HHN19] ・『不法局対策委員会』の再立ち上げを[RTS20]

監査指導 (2/2)		
法令上問題 (2/2)	免許切れ局	『無線局等情報検索』で確認できない『QSOパーティー』への参加者[WTL16] - D-STARへの登録[DSN18]
侵入電波 (IARU Reg. 3連携)		7.020MHz LSB 東南アジア系[EJ17] 10m帯など[RTS17]
社会貢献活動		指導法についての協議の場を[EEH21]
災害対応・非常通信	全般	- 災害対応への貢献[EJ20] 「アマチュア局の非常通信」についての徹底（要 従免）[EJ17] 「非常通信ネットワーク」の活動紹介[DSN20] 「非常通信規定」での表記：DV→デジタル方式 [MUY20] - 非常通信のネットワークづくり（助成制度）[DSN21] - 支部～都道府県の防災協定締結強化[RKA23]
	関連団体との連携強化	- 活用強化：日本防災士機構・コミュニティFM (JCBA) への働きかけ[RKA23] - 発災時：日赤・同 アマチュア無線奉仕団・全国社会福祉協議会[RKA23]
	運用	非常通信時の、連盟主導での周波数の確保（「非常通信周波数を知らない局」対策）[AAA16・MUY19]
	非常通信周波数	3535kHzのはみ出し[OE16・OE17] 28.20MHzのJARLビーコンとのかち合い[OE16・OE17]
バンドプラン	7M FT8	- 国内周波数の周知強化（対 非会員も）[DSN22] - Reg. 3 ハーモナイゼーション（意見募集・委員会諮問を）[BIB22・HBF22]
	1.9M	- 総務省見解の「可能性を制限しないため」（全電波型式とした）についての認識[EJ20] - 各国との齟齬[EJ20] - 会員からの意見募集を[DFJ20]
	バンドプラン表	1.9M：法令と紳士協定とが混在[DND20・EJ20] 1.9M：DXコンテスト時にはSSBでの利用幅が拡大[DND20] - デジタルモード：「慣習」の反映を[RNL20]
運用そのもの	一般	- 運用マナーの立て直し・向上・啓発（ID送出・バンドプラン）[MUY19・MUY20・PFW16・THO17・WTL16] - 移動時の運用マナーの注意喚起[RKA23] - デジタルモードでの過大な電力、過変調[OHZ18] - 業務通信もどき対応（ニューカマーの物おじ防止）[HHN23]
	D-STAR	- 長時間占有などへの対策[DSN20] - カーチャックへの対策：①YLコールを指定した・②そもそも不要な[JAW22] - 音声なしCQへの対策[JAW22] - YLコール指定カーチャックなどへの対策[JAW22] - 登録クラブ社団局は管理サーバの履歴が消えない設定で：「アクセスポイントモードでは待ち受け不可」の問題解消[JAW22]
育成		- 資格取得後のフォローアップ、自覚の植え付け[OE15・OE17] 《従事者規則改正：知識・技術の向上を義務づけ》 - 上級資格取得の奨励（会員としての定着ねらい）[KCW17・OE15]

局運営		
共通		・非常時などでの遠隔操作化^[WTL20] ・使用フォネティクス^[EUJ18]
中央局		・一般会員による運用を^[HHN17・HHN18・HHN19] ・ニュースの定期送信を^[RKA23]
記念局		・根本見直し：規定からの乖離（「内輪の行事」が大半と化した特別記念局）／区分のわかりにくさ・無意味さ／総通への直接申請が可^[QHQ16・WTL15・WTL16] ・管理の限界（開設の周知が追いついていない）^[WTL17] ・申請の締切踏み倒しの常套化^[WTL15] ・Web告知の遅れ（運用開始に間に合っていない）^[WTL22] ・運営ガイドラインの作成（問題ある運用あり）^[LDY21] ・免許機材の嫌疑（社団局との設備共用は禁止）^[OEP16・WTL15・WTL16] ・「クラブの記念局」は引き続きJARLで^[KCW18] ・HQ局の建て付け：「現地社団局のコールの変更」で開設手順の簡素化^[WTL15]
レピータ局	全般	・D-STAR以外のデジタルモード^[CCD18・CCD19・DFJ19・DFJ20・EUJ18・EUJ20・HHN19・IKD17・MUY20・MUY21・MUY22・MUY23・OIN17・OIN18・RTS17・RTS18・RKA23・RTS19・WTL16・WTL20] 《ワイヤレスネットワーク委員会で検討》《DMRに「デジピータ扱い」のうごき》 ・「仕事に使えません」メッセージの発出^[HHN23]
	運営	・管理団体の構成員の確認（例：再免許時に提出義務づけ）^[BCE15] ・意見交換の場を：連盟・管理団体・社員^[MUY22]
	新設	・D-STARレピータ^[DSN21] ・1200MHz帯レピータ^[HHN19]
ガイダンス局	機材	・定期メンテナンス^[KF16] ・機器の更新・数量増を^[PHW23] ・事務局への設置を（好ロケーション）^[PHW23]
	送出メッセージ	・見直し^[KF16] ・柔軟化：「QSY先の案内」などの具体的指導^[HVO21]
	人材	・運用を^[ANO19・RTS21] ・担当者名簿の整備^[KF16] ・運用実績に基づいての人員交替^[RKA23] ・運用者の保護（保険・資格証明書など）^[KF16] ・三陸特以上保有者の把握～プール化^[RKA23]
支部の局		・支部による無線機の管理運用（非常通信用）^[MUY19]

システム（D-STAR）	
D-STAR	・JARL方式/非JARL方式の一本化^[RTS18] ・「最終アクセス一覧」への項目追加（日時・エリア・非常通信訓練中など）^[DSN18] ・わかりやすい情報提供（D-STARニュースは難解）^[DSN21]

対 総務省 (1/2)		
規制緩和		・「移動する局／しない局」の一本化^[IKD19・OEP12・WTL16] 《制度改正の意見募集への総務省の反応では、電波防護面でかえって不利になると》 ・移動局の増力^[DFJ20・JNA22・WTL16] ・レピータの免許人（現状は連盟のみ）^[IKD17・WTL15・WTL22] 《制度改正の意見募集への総務省の反応では、引き続き連盟であって欲しいよう》 ・補助中継回線：現状は、(1) 29MHzレピータの送受点間リンク・(2) D-STARのアシスト局間 のみ^[WTL15] ・自局内通信：「ノード局の別免許化」を不要に（ドローンは近いことが許されている）^[FNL23・RKA23・WTL18・WTL20・WTL23] 《制度改正の意見募集への総務省の反応では、ダメと》 ・リグ購入後の「事後」届け出化：法令上では「事前」の届け出を求めている^[WTL23]
新スプリアス規格移行		・緩和：諸外国では例なし・業務局と同等の規格^[HBF18] 《適用期限延期中》 ・200W以下・30MHz以下なら、-50dBm→-43dBm^[HNN18] ・JARDと意見交流を^[CBH21] ・出口戦略を（延期対象が18.8万局も）^[RKA23・WTL21] ・無期限化を^[CBH21・WTL23]
1200MHz		・EME用QRO免許の維持^[LDY21]
バンド拡大・新バンド	拡大	・ローバンド：連続解放^[HBF21] ・2.4GMHz帯の上への拡張^[PHW23]
	新バンド	・5MHz帯の獲得^[CBH21・CBH22・DFJ19・IKD19・LGW23・RKA23・WTL16・WTL20]
	交渉ネタ	・1200MHz帯での引き下がり^[HBF18] ・430MHz帯でのタイヤ空気圧モニタ・リモートキーレスエントリー^[PHW23]
バンドプラン		・改善対応^[PHW22] ・VoIPへの割当拡大（ノード数増でQRM）^[MUY19・MUY20・MUY21・MUY22・MUY23] ・非常通信周波数の規定（「DV」以外のデジタルもあり）^[MUY19・MUY21] ・5.6GHz帯でドローンの需要に対応（レピータ局・アシスト局2府県計6局のためだけに50MHz幅）^[WTL17・WTL23]
レシプロ	双方向	・CEPT T/R 61-01締結^[IKD19・WTL17]
	アウトバウンド	・レシプロ締結先での制限緩和（例：米国での148MHzまでの許容）^[WTL17]
	インバウンド	・『アマチュア局の無線設備の操作のための登録証明書』の廃止^[WTL17] ・対象外の国の者でも運用できる仕組み^[DFJ23]
体験者と第三者通信の整合		・総務省の見解では「体験者は第三者ではない」だが、国際的一般の認識では、別の人が喋ったら「第三者通信」^[WTL23] 《ARRISSスクールコンタクトではNA1SSとの通信を回避中》

対 総務省 (2/2)	
新制度	『電波利用料』の連盟での利用（ガイダンス局の整備などに）[WTL16] - バニティコール[DSN16・WFM14] - 上位資格者の優遇策（資格別コールサインの導入など）[WTL19・WTL20] - 一アマの養成課程講習会[OEP12] 「#」のモールス符号の制定[XKH22]
環境	- 違法局対策[RTS20・RTS21・RTS22] - 外来ノイズなどの抑止[ANO18]

対 総務省以外		
対 経産省	屋外高速 PLC	- 動向把握（オリンピックを契機にレギュラトリー・サンドボックス化）[NMT17・VQA17]《実験申請時に事前の予備実験が一部で不要に@国家戦略特区》 - 協調化[NMT17]
	その他	- 電波防護安全施策の申請法の改善[OHZ23]《Excel旧バージョン救済申し入れ》 - 不要輻射問題：太陽光発電・LED[ANO19・CFA17・DSN21] - イミュニティ規格・エミッション規格[HIC16] - 不要輻射問題：太陽光発電・LED[ANO19・CFA17・DSN21]
対 自治体		・アマチュア無線による社会貢献活動の啓蒙[EEH22]
対 東京都		・太陽光発電義務化への対応[BIB22・PHW22・WTL22]
対 養成課程講習会実施機関		・時間・内容・費用の見直し：開局者の質の低下対策（コールサインを言わない、「電波利用料を返せ」とすら）[PFW16]
対 日本無線協会		- 点身障害者むけの受験が可であることのPR：点字（一・二アマ）、口述（三・四アマ）[EUJ18] - 三・四アマへの点字受験の追加[EUJ18]
対 警察		・猟銃の講習会・所持許可更新での周知・講話（不法無線機対策）[DSN22]
対 部落解放同盟		・賛助会費の支出の解消（インシデントから30年も経過）[WTL21]
対 メーカー		・安価なリグ：青少年用に[LKC16]
対 PTA		・「受験勉強への影響の危惧」の払拭[LKC16]
対 社会貢献関連諸団体		交流推進：情報通信振興会・NICT・放送大学・日赤・全国福祉協議会・ボーイスカウト日本連盟・ガールスカウト日本連盟・YOTA Japan・日本協同組合連携機構・日本防災士機構・日本防災士会[RKA23]
対 国会議員		・行うべきであるが、パーティに出席したなら活動報告を[RKA23]

一応の解決／一過性 (R5(2023)年 1/5)		
経営	R4決算	・12年連続赤字^[LXU23] ・認識：会長JG1KTC下で財産の損失3.8億円^[WTL23] ・赤字決算の責任は過去の執行部だけか・そのときJG1KTCは理事だったが・現執行部には責任なしと断言するか^[LXU23] ・赤字予算～赤字決算は内閣府の目論見に沿わせるためか^[LXU23] ・内閣府からの「黒字を出すな」の指示の有無^[LXU23] ・専務理事の年俸分による貢献あり（R4年度は置かず）^[IKD23] ・准員にかかる経費（ライフメンバーの正員からの意向を踏まえ）^[PHW23]《特段なし》 ・弁護士費用を算入（会計帳簿閲覧請求敗訴～理事会決議なく控訴）^[DFJ23・LXU23] ・JARL NEWS費の+300万円（前年度比）の理由（→ライフメンバーあて試供版11,400部、用紙代の高騰）^[BIB23] ・機会化事務費÷会員管理システム運用の内容（→保守運用管理）^[DSN23] ・「モールズ電顕ミニチュアコレクション」の収益^[DSN23] ・会館建設積立資産：見込みないのに費目維持（→今後検討）^[DSN23] ・電話加入権：資産扱い（→法人税法では損金算入不可）^[DSN23] ・退職給付費用：給付元～倒産防止共済などへの加入（→100%連盟・共済は考えていない）^[DSN23] ・災害積立資産：使途（→緊急の災害）^[DSN23] ・賞典費にインターネットサーバー使用料（→コンテスト関係）^[DSN23] ・交際費の予算化の有/無（→渉外費）^[DSN23] ・監査の頻度^[EEH23] ・内部監査の実施有無^[EEH23] ・内部統制の確認者^[EEH23]
	R5予算	・収支トントンで^[IKD23] ・取り崩しありきか^[RKA23] ・受取会費の蓋然性（正員766名増相当）^[WTL23] ・専務理事の役員報酬：予算措置なし^[IKD23・WTL23]《R6総会に定款改正を付議：専務理事置かずも可・常務理事新設》 ・QSL費：わずか65万円の増^[WTL23] ・電子QSLのための予算の有/無^[PHW23] ・お祝い金（広報活動費中）：廃止・開催側は辞退を^[WTL23]《取りやめ》 ・JARL NEWS配布の家庭数化^[RKA23]
	その他	・予算実績管理の責任者・監督^[BIB23] ・「特定資産枯渇まで会費値上げなし」の確認^[BIB23] ・黒字化による会費値下げ・賃上げなどの意志の有無^[BIB23] ・支部会計：報告の範囲（地方本部から配布の支部費のみか）、賞典収入・祝儀などの別会計化の可否、連盟による監査の有無^[LXU23] ・顧問弁護士の役割（実態はオーセンスが主導）^[RKA23]《JA1QIW退任へ》
民法の成人の見直し対応		・賛成^[XKH23] ・社員の年齢制限の引き下げ対象の範囲：地方本部選出・支部（→双方）^[RKA23] ・理事候補者の年齢制限が不変な理由（→社員と同様）^[RKA23]
地方本部長選挙化		・賛成：即時施行で^[DFJ23] ・賛成：「他エリアの社員による選任否決」が解消^[WTL23] ・賛成：自エリアによる選出の確約^[WTL23] ・欠員時は補欠選挙で^[RKA23] ・補欠当選者は、社員総会で理事としての選任を^[RKA23]
係争：会計帳簿閲覧謄写請求		・控訴理由^[HBF23] ・控訴の取り下げを^[WDL23]《取り下げ》 ・弁護士費用支出の責任^[HBF23] ・「理事会に諮っていない」という法令・定款違反についての、監事の見解。監事から会長への意見の有無^[DFJ23・HBF23・LXU23] ・監査報告書（理事の職務執行に関して、不正行為...事実はない）の訂正の要否^[LXU23]

一応の解決／一過性 (R5(2023)年 2/5)		
JG1KTC理事 解任	全般	・ 真摯に受け止め自ら辞せ^[IKD23]《およそ、その通りに》 ・ 理事会内の対立についての所感・対話努力^[RKA23] ・ 副会長の見解を：①理事会無視の独断運営，②非常識行為（割り勘したにもかかわらず満額を連盟に請求・公務員への贈賄未遂），③政府・総務省への対応，④社員からの支持（得票最低）^[DFJ23・HBF23] ・ KANHAMへの助成金の急遽取りやめ^[WTL23] ・ JA1ANの訃報の展開遅れ^[WTL23] ・ 非選任されるような推薦理事の提案（社員の意向を酌めず）^[WTL23] ・ アドバイザリーボードでの活動内容^[RKA23] ・ 規約改正時の理事会での審議過程^[RKA23] ・ 全国理事の役割分担^[RKA23]《委員長判断で会長に推薦～委嘱》 ・ #63理事会での委員会設置提案の扱い（既設の委員会ですむというが，委員の選出基準があいまい・実績が見えない）^[RKA23] ・ いつまで会長を続けるつもりか（かつての年齢80・重任4期8年の制限は撤廃されている）^[BIB23] ・ 品格：“ジャンケンアマチュア無線連盟”化，しかも課題について話し合うべき海外からの賓客を差し置いて^[WTL23] ・ 本人の弁明機会を^[XKH23]
	独断	・ 人の話をしっかり聞け（現状，聞く耳持たず）^[LGW23] ・ 独断・独裁：会員期間延長～2000万円の収入減，理事会無視（親善大使創設・総務省要望）^[WTL23] ・ 地裁で敗訴後，理事会なく控訴^[ETK23] ・ 表彰規程違反：QSLビューローを勝手に表彰^[WTL23]
	金銭問題	・ #65理事会での会長解職議案の経緯説明^[WTL23・XKH23] ・ 謝罪・反省なし：160万円/年，2～3日に一回の“打ち合わせ”，②250万円/年の旅費（水戸ごときでも一泊）^[WTL23] ・ 割り勘～全額精算分の，返金の意志^[WTL23]
	社員の誘導	・ 社員JA1MUY（会長有報酬化を訴求）に委任状41通を集中～理事候補者5名が非選任^[WTL23] ・ 感情的理由で，社員35名にJR3QHQの解任を提案させる^[WTL23]
	スキル不足	・ 制度改正の結果を自らの口で説明できず^[WTL23] ・ アマ取らず^[WTL23] ・ 「モールス符号をユネスコの無形文化遺産へ」と唱えつつCW運用せず^[WTL23]
	一般常識不足	・ 三浦電波監視センターにビール券（国家公務員への贈賄未遂）^[WTL23] ・ 「著作権の問題があるから録画・録音禁止」（ならば，そもそも使えず）^[WTL23] ・ 英語力：CQ誌 計3号とWebに「41th」（正しくは41st）^[WTL23] ・ 総務省の統計値を読めず：廃局数ではなく減少数（開設－廃止の差分）^[WTL23]
	道義上問題	・ 選挙期間中に，CQ誌に自身のインタビュー記事4ページ^[WTL23] ・ 自身の出向いた8J1JOTAのみJARL NEWSで記事化^[WTL23] ・ 選挙直前に冊子版非契約の会員むけにJARL NEWSを自身名義で郵送^[WTL23]《+300万円》 ・ JA1LVBの理事推薦の撤回～社員総会での虚偽答弁^[WTL23] ・ 自腹に見せかけた連盟からの支出（お祝い金・飲食物）^[WTL23] ・ インターネットでの情報発信における誇張^[WTL23]
	ロビイング	・ 政治献金の効果^[RKA23] ・ JI4SAR当選祝胡蝶蘭の名義，連携のアピール^[RKA23]
	必須としていた，出張・飲食をとまなう会合	・ COVID-19禍で減ったことによる，業務への支障（旅費交通費が200～300万円の減）^[FNL23] ・ 影響軽減後は従前の姿に戻すのか^[FNL23]
	JARL会員ファーストの会	・ 定款違反：連盟の目的に比べ低意識（アマチュア無線全体のためでなければならぬ）^[FNL23] ・ 非常識：JARLの著作物を，あたかも自団体のもののごとき扱い^[FNL23]

一応の解決／一過性 (R5(2023)年 3/5)		
JR3QH Q理事 解任	社員提案権行使書の体裁	・執筆者^[IKD23] ・記載の内容が風聞・証拠なし^[ETK23・LXU23] ・社員提案権行使書の受付の時刻・方法^[BIB23] ・提案者35名の意志の確認法（自署なし）^[BIB23・LGW23・LXU23] ・起案者の責任が不明・自筆署名なし^[BIB23・DFJ23・LGW23] ・作成者・賛同への要請者は誰か^[LXU23] ・不自然：おもに0・1・6・7エリアから（自3エリアからならともあれ）^[XKH23] ・提案権行使書の有効性（文面が4号議題に酷似・署名捺印なし）^[HBF23・LXU23]
	社員提案権行使書の内容	・その場にいた者でなければ知りえない行動を問題視：①理事会での言動、②関西ハムシンポジウム、③誓約書の提出なし^[HBF23・LXU23・RKA23] ・副会長の見解を：理事会情報の不正漏洩に相当^[DFJ23] ・指摘で、理事会での出来事を「周知の事実」としているが、それはない^[LXU23]
	「体験運用マニュアル作成おくれ」を指摘したこと	・「納期を約束していない」という#63理事会の録音の有無^[LXU23] ・そもそも論として、施行前の整備は必須^[HBF23・WTL23]
	関西ハムシンポジウム地方本部長あいさつで「リグ追加の届け出は事後でいい」としたこと	・総通の解釈の変更～法令違反の助長ではない^[HBF23] ・指摘で「法令違反の助長」とあるが、法令の条文からは、「リグ購入後の事後の届け出で可」となる^[WTL23] ・具体的事実がない^[LXU23] ・法令の解釈の相違は品格の疑いには繋がらない^[LXU23]
	その他	・指摘で「誓約書の提出なし」とあるが、そもそも提出は任意^[HBF23・LXU23・RKA23・WTL23] ・指摘で「理事選任に71名の反対」とあるが、大半は委任（反対は、受任者JA1MUYの個人の意思）^[WTL23] ・指摘で、「不実の発言」「扇動させるような言動」としているが、具体性・客観的証拠がない^[LXU23] ・指摘で、社員総会で「異常行動」としているが、過去2回出席していない^[LXU23] ・人材として重要^[HBF23] ・万博記念局実行委員長だが、解任後は誰が務めるのか^[RKA23] ・捏造が露見しなければ貶めていいのか^[LXU23] ・代表者から説明を^[XKH23] ・本人の弁明機会を^[XKH23]
組織運営	全般	・貴重な会費と認識し執行を（飲食）^[CBH21] ・交際費は公金、オープンに^[CBH22] ・監事に求められる学識経験^[LXU23] ・会長による専務理事 役の兼務の内容^[RTS23] ・社員による陰謀論・デマの流布に対する注意^[RKA23] ・個人情報保護：指導監督者の設置を（秘匿住所であって投票依頼ハガキの事例）^[LXU23] 《考えていない》 ・顧問弁護士は会員ファーストで（会長・専務理事の個人的な弁護士にあらず）^[HBF20] ・慶弔費^[PHW22]
	会員台帳整備	・「郵送物が届かなかった」会員の扱い^[WTL23] ・定期調査を（前回調査で再開局を約束も、非実施の者あり）^[WDL23]《隔年実施》
選挙	運営	・投票用紙の返送先の、別宛先化^[DFJ20・HBF21] 《2022年実施》 ・局免切れ会員への投票用紙送付～再集計の可能性^[EUJ20] 《台帳整備を定例化》 ・地方本部選出社員候補の、支部内での事前調整^[RKA23] ・委託先の利益相反なきことの確認（連盟会員が役員・作業者にいない など）^[LXU23] ・異議申し立ての提起期限後の受付^[LXU23] ・投票率の低さ～認識・向上策^[NMT20・PTK12・WFM13・WTL15] 《2024年はメルマガ周知》
	公報	・紙公報の配布^[LDY22・LXU23・RKA23] 《#70理事会で否決：簡易版を郵送（+179万円）・詳細版をWeb掲載》 ・様式見直し：広さ・区切り^[LDY22・LXU23・FNL23・WTL22] 《2024年改善》 ・記載（紙幅）拡充：オンラインなのだから可^[NMT20] 《2024年改善》

一応の解決／一過性 (R5(2023)年 4/5)		
社員総会運営	全般	- 速記録の復活[BIB23・HBF22・MUY22・MUY23]《2023年実施》 - 準備書面回答集の作成～配布[BIB23・MUY23・RKA23]《2023年実施》 - 開票の立会人の無作為抽出[RKA23] - 答弁の確認法：速記録なく、録音も非公開[LXU23]《2023年、速記録を復活》 - 弁護士の出席の可/否（議事運営規定に照らし）[FNL23]
	傍聴人	- 定数：根拠（規程）・非公開理由[FNL23] - 傍聴の希望に沿うべき[FNL23]《増枠を検討》 - 選び方[RKA23]
会長		（JG1KTCは）従わない者への拒絶があからさま[HHN18]《理事退任》 - 対話の有/無・意見を聞くように：JARL正常化プロジェクト～JARL会員ファーストの会[FFN23]《JARL会員ファーストの会、消滅》 - JG1KTCからの謝罪：伏見氏推薦取りやめ～総会での虚偽答弁[HBF19]《理事退任》 - 有報酬化：責任・役割から支給要[MUY23]
会員サービス	QSL転送	- 対応状況：転送遅延改善（増強・分散）・電子化・効果分析（→分散よりは集中のほうが高効率） [ETK23・LGW23・PHW23・RTS23] いまの所要時間・従来相当への短縮化の見通し[RNL23] - 会員ステイタスの確認タイミング（IN時/OUT時）～非会員の場合の扱い（→送付者はIN時、発送時点で非会員なら転送不可）[XKH23] - 保管能力増の状況・滞留分の物量対策[BIB23・DFJ23]《折り畳みコンテナ～換算困難》 - 到着枚数削減策・処理能力増強策[BIB23・RPZ23]《会員あてに削減要請；処理能力は約900万枚/年》 - 会員むけキャンペーン：複数QSO記載・コンテストでの交換自粛・記念局は自局宛送付不要・必要ならPSE QSL明記[CBH22・LXU22・WTL23]《会員あて削減要請》 “スバムQSL”対策[QHQ16・WTL15] - 重複発行の自粛呼びかけ[DFJ23]《会員あて削減要請》 - IARUの「不要・不達のQSLカードの削減」への対応[DFJ20・WTL20] - JG1KTC自身が毎回大量発送で危機感なし（アクティブなのは素晴らしいが）[WTL23] - 電子化の進捗[PHW23]
	ハムフェア	- 移転（2022年は賃料1200万円＋雑費200万円）[RKA23]《移転決定》 - ガイドブックの住所・電話番号の記載の見直し[BIB22・LXU23・RKA23]《2023年は市区町村・氏名・emailアドレスに》 - 出展料：値上げの理由[LGW23]《ハムフェア実行委員会で抜本検討》 2023ポスター：イラストの権利処理・デザイン経費[RKA23] - パーティションパネルの問題解決：薄い・レンタル品ゆえ汚せない・セット価格に組み込まれ高価（オプション化で出展料の値下げを）[RKA23]《2024年はパネルなしのB・Cタイプを創設》
	広域ハムイベント	東海・北海道の日程重複：理事会調整なしの理由[LGW23]
広報活動		- 対象が会長関与案件に偏向、他地域の扱いも平等に（例：JOTA）[BIB22・LDY22] - JARL会員ファーストの会（多数の理事がメンバ）による、記事盗用[FNL23]《Web消滅》 - Webでの非常通信発生などの通達：即応性の確保[HHN23・LDY22・OEP16・WTL16]《令和6年能登半島地震では非常通信周波数の保護を周知》 - 国内での発災時の情報発信（海外だけではなく）[WTL19]《同》 - QSOパーティの景品のトランシーバの当選者の秘匿理由[DOR23] - Radio JARL.com：目的・手法・水戸への交通費など[EUJ19]《会長の出演なしに》 - PDF資料は文字抽出可に（アクセシビリティの確保）[WTL21]《対応ずみ：#66理事会報告～》
青少年育成	勧誘	『会員増強組織強化委員会』の具体的活動[RPZ23]
	会費減免	学生（無償化または入会時一定額負担）[HHN18]《助成が定着》
	体験局	6・7・0エリアでJARLによる開設なし（いずれも地方本部長は“JARL会員ファーストの会”）[WTL23]《体験局制度が消滅》

一応の解決／一過性 (R5(2023)年 5/5)		
監査指導		- 違法局対策（対 総通、とくに北海道）[RTS23] - 総務省が出したハガキ（仕事につかえません、2023年1月）への追従施策 [HHN23] 80条報告の連盟経由化の予定の有無（個別通報よりも圧）[RKA23] 80条報告の定量的監視の有無[RKA23] - 国会議員などを通じた処理の圧力の考慮の有無[RKA23] - 業界団体への適正利用の呼びかけの有/無[RKA23] - JAIA・八重洲・販売店との協力の有/無[RKA23]
D-STAR		- 費用（サーバの設置場所・台数・機器・管理者・費目）（→VPS×2セット、サーバのほかにPCとインターネット環境、D-STAR委員会、計2万5千円程度、設備機器費）[MUY23] - 総通からの指示の形（ログの保存・提出・運用停止、その書類、提出要求の有/無・提出時の形、停波の有/無）（→回答控える）[MUY23]
ガイドンス局		- 緊急運用の予定の有/無[RKA23] - 規正局との合同運用がなかった理由：関東・四国・九州（→少なくとも四国は実施）[DFJ23] - 設備更新の見通し[DFJ23]
法令改正対応		- バンドプラン設定への対応（IARUのプランとの整合・情報提供手段・進捗状況・公表日程）[IKD23・RKA23・XKH23] 《ガイドブック的なものを目指す》 7041kHz FT8のQSY先[RKA23]
JA1RL局		- 役割、運用時間、運用委員会のメンバー・選定法・業務内容[RKA23] - 訪問者が運用できない理由[RKA23]
HQ局		8N7HQ（2022年）の選定経緯～指導支援内容（わずか86QSO、世界最下位）[WTL23] 《80mで申し出なし～若い方から申し出～育成観点》
渉外	免許手続きの簡素化などの制度改善	「JARLによる陳情の結果」であるならば、 ①陳情文の公開を（全国陸上無線協会は要望書を公開）[RKA23] ②内閣府WGへのJQ2GYUの提案が原形～JARLが先行ならば物証を[RKA23] ③その後の法令改正での具体的該当部分[PHW23] - 原案は内閣府WGでのYOTA Japan事務局によるもの（→契機はR2年12月の「デジタル変革時代の電波政策懇談会の検討課題に関する意見募集」への対応）[DFJ23] - 総務省への要請の内容（含 ローバンドのFT8問題）[DFJ23] - 視点の齟齬の有/無：政府（ワイヤレス人材育成）vs JARL（アマチュア無線の健全な発展）[RPZ23] 《『体験運用推進・ニューカマー支援委員会』を設置》 - 改正にJARLの意志が反映されたか[RPZ23] - 対応経緯：ARISSスクールコンタクトにとっては改悪（第三者通信の解釈）[PHW23]
	今後に向けて	- ローバンド：スプリアス測定の簡素化（現状、個々のサブバンドで必要）（→3.5Mは6区分での測定不要）[PHW23] - パブコメ募集対応：宇宙基本計画（2023年4月）[PHW23] - 具体的要望点[RPZ23] 「法務委員会」の設置を（「声をかけられても応じられなかった」点の反省・要望の具現化）[DFJ23・RKA23] 《#68理事会で否決》
	電磁環境	- 太陽光パネル義務化：東京都 + 京都府・群馬県（→CISPRでの確定待ち）[PHW23・RKA23] - WPT：会合参加者・会員への啓蒙（→電磁環境委員会のJO1VVT幸島委員）[PHW23] - タイヤ空気圧モニタ・リモートキーレスエントリ：対応状況・計画（→アドホックグループに参画予定）[PHW23] - 短波帯デジタル固定局作業班の経緯：連盟の役割・干渉調査の要否[RKA23]
	諸団体対応	大日本猟友会：「有害鳥獣対策も社会貢献」への、対応状況[RKA23]
	政治家へロビイング	- 成果（関係ない政治家も）[PHW23] - 野党（国会議員）との接触の要/否[RKA23]

過去の「一応の解決／一過性」事項については、各年の準備書面をご参照。

R5年pp.39-42, R4年pp.51-53, R3年pp.50-51, R2年pp.38-40, R1年pp.45-46, H30年pp.19-20, H29年pp.24-29.

数値の開示 ～R5(2023)年	
金額	- 赤字総額（新法人移行後）[MYB16] - 赤字額（H23）[GXU12] - H28決算予想[MYB16] - 会員増強キャンペーン結果（「200万円かけて66名の増」との分析もあり）[BCE16・DOR16・JOK16・MYB16] - ハムフェア：収支[DOR18] - 青少年お試し入会キャンペーン結果[JOK17] - 消費増税の影響[WTL15] 『雑収入』の内訳：膨らんでいる[BFA16] - TSS・アグレックスへの支払額[DOR14・DOR15・DOR16・VQA14] - アグレックスへの支払額[DOR18] - 会費中のQSL転送費の割合、転送費の内訳[WFM13] - 職員の平均給与[DBQ12] 1枚あたりQSL転送費用[CFA17] - QSL費（7.6円/枚）の内訳[OIN18] - 電子QSL検討（なし（委員会経費のみ）@H30年度、300万円@R1年度）[PHW19] - 広報大使コスト（実費数万円）[HBF19] - 原元会長寄付金（30万円、雑収入扱い）[HBF19] - アンテナなど保険の収入見込み[PHW20] - 局名録の支出[PHW20] - D-STAR管理サーバ（25,000円）[MUY21] - オーセンスへの弁護士費用（会長個人による依頼では？）（→約480万円）[DOR23] - QSOパーティの景品のトランシーバの費用（→5万円/3台）[DOR23]
件数	- 会費助成の件数[BFA12] - 賛助会員の口数の分布[ACV13] - ハムフェア：学校登録クラブの出展料半額助成件数[DOR18] - 投票用紙の返送数[DFJ20・NMT20] - 記念局のQSLカードの発行枚数[JIX20] - 社団局分のQSLカード[JIX20] - 選挙：投票締切後の到着数（郵送所用日数増）（→1,241通）[WDL23]
人数	- ライフメンバー移行状況、目標比[ACV15・LFV14・VQA14] - ライフメンバーの7,200円の会員数／正員の7,200円の会員数[RTS14] - ライフメンバー会員数[JOK16] - ライフメンバー中のQSL転送利用者増[AXB17] - ライフメンバー准員の人数内訳：会費負担あり・同なし・QSL転送・JARL NEWS読者（→ライフメンバー会費30名、転送手数料14名、支払いなし8815名（うち会員台帳整備での移行が約3600名）[PHW23] - 入会・脱会者数（過去5年間）：電子QSLの普及による脱会増の可能性（→例：R4年度は入会 3,407・退会 3,565）[PHW23] - 入会勧誘した、QSL到着数の多い非会員数（→案内58件～入会4件）[PHW23] - QSLカードの発送状況・発送法[HCL16] - QSL転送の実利用者数、うち前納会員数[WFM13] - QSL転送を（有料で）利用する前納会員の見込み、目標達成率[DSN14・VQA13(締切後着)・WFM13] - QSL転送の増加率・発送区分[BIB22] - 滞留QSLの保管費用（→約50万円/年）[DOR23] - 到着枚数：前年度比・処理能力比（→到着10%減）[BIB23・LGW23] 18歳未満の入会数[LFV14] 『青少年お試し入会キャンペーン』効果（入会者数・継続率）[HHN17・RVM21] - WAKAMONOフェア成果[DFJ20・EUJ20] - 制度変更時の退会者数[LFV14] - 会員増/減の詳細[JOK16・RTS18] - エリアごと入会者数・退会者数[JIX20] - 入会数 vs 退会数[RTS20・RTS21] - 選挙人数[NMT20] - 職員数・賞与引当金の対象人数[DBQ12] - 正規・非正規の職員数[RTS20・RTS21] - 非正規の管理職[RTS20] - 管理職数（→6名）[RTS22] - 選挙の紙公報の希望者（→12名）[LDY22・LXU22] - 点字JARL NEWS発行数：読み上げソフトへの移行可能性（→100部/回）[PHW22] - 台帳整備結果[BIB22] - QSL：到着枚数[BIB22] - QSL：発送区分ごと枚数[BIB22] - 社員総会：傍聴希望数（→16名、倍率3.2倍）[FNL23]